

# 晴見保育園ミニコンサート

平成30年6月12日

園児たちも楽しみにしていた、黒田先生のミニコンサート。今日は、武蔵野音大の小林先生を招いてのコンサートでした。また、安立園「さんぼみち」のおばあちゃんたち、保護者の方の出席もあり、とても楽しい絵となりました。



## 音楽会



「さんぼ」の歌では、乳児さんが舞台に出てきて、まさしく、手をつなぎ、散歩をしながらの歌となりました。



聡子先生が、ピアノ弾きだしました。すると園児たちは、指揮者もないのに、スーッと全員が歌い出しました。先生もとても驚き、感激したようですが、凄いことだと思います。歌い出しが綺麗に揃っていました。唄に慣れ、音に慣れ、楽しむことができるからこそ可能となることだと思います。当園では、音楽に親しむ・・・ということで黒田先生に来ていただいています。見事に、音楽に親しみ、音楽が好きになったように思いました。



「ハナミズキ」を全員で唄いました。



終わりに、「アンコール」と園児たち(笑)。先生が「何の歌がいいの？」と聞くと、園児たちは「ありがとうの歌」と答え、全員での合唱となりました。すると園児たちは立ち上がり、体を動かしながら歌いました。黒田先生の指導は、歌が上手になることではなく、表現を大切にすること。そして音楽を心から楽しむことを大切にしています。当園の園児たちは、音が出れば歌い出し、体で表現もする。それがとても自然に・・・先生方がそうしろと全く指示はしていない。園児たちの体の奥からそうした流れになる。これって、本当に「音楽を楽しむ」と言うことではないでしょうか。「楽しみながら、学ぶ」ということを見たように思いました。